

島原ソーイング株式会社



会社の風景

＜主な業務内容＞
下着製品の製造
＜KES ステップ2登録日＞
2007年5月



環境管理責任者の梶山様（左）
立光グループ長（右）

今回お邪魔したのは、[長崎県島原市](#)にある島原ソーイング株式会社です。会社は、島原電鉄島原市駅より北にひと駅の三会駅に近い工業団地にあります。生産している主な製品は、婦人用下着で社員の90%が女性です。職場は明るく活気があり、地域のボランティア活動にも熱心な女性が活躍している会社です。

きっかけ

経営理念では「ものづくりを通じてお客様と喜びを共有し、社会や自然環境と調和のとれた創造性に溢れる企業活動を展開します」と謳っており、自然豊かな島原の地で、環境と経済を両立して社会の発展に貢献しようとお客様から紹介のあった KES を活用した企業経営を展開しています。

職場には、「明るい職場」・「いきいき職場」などイラストの入った大きな掲示物があり、挨拶・マナー・気配りと創造性・プロの仕事・変革の言葉があちこちで見られ、仕事の基本と応用・練磨の両面を意識して、活動されていることが良くわかります。

全員参画で話し合いを徹底してベクトルをあわせ、和気藹々と推進されている風土が、年間品質最優秀工場の継続的な受賞につながっているのだと思いました。



明るい職場づくり

環境改善の取組み

目標として、「電気使用量削減」、「工場周辺の清掃」、「地域との交流・活動協力」、「ガソリン使用量削減」、品質目標でもある「折れ針の削減」に取り組んでいます。

1. 電気使用量の削減

エアコンは月1回清掃しています。また、工場照明の約8割をLEDに切り替えており、照明による室内温度が上がらず、空調も楽になったとのこと。また、ソーラー発電44kWをH25年に設置しています。なお、電気使用量と使用料金、廃棄物置場には廃棄物袋の金額を表示して、環境と経済の両面での意識高揚を図っています。



階段に改善標語の掲示

2. 地域との交流・活動協力

非常に熱心に地域との交流・協力活動を展開しています。定期的な学校訪問・寄付、地域の行事・お祭りへの参画・寄付をしています。具体的には、①書き損じのはがき、②未使用の切手、③リングプル、④ペットボトルのふた、⑤ベルマークを社員で持ち寄り・寄付したり、フリーマーケットに参加し、売上をユニセフへ寄付しています。最近多忙で実施できていないとのことでしたが、介護施設や身障者施設へも秋・春に訪問されていました。



工具コーナー

3. 緊急事態対応として津波を新たに想定し、避難所確認等テストを実施しています。

4. 5Sや提案活動

5S活動も熱心で、定期的に定点観測し改善を確認しています。工具コーナーもしっかり定置管理できるようになっています。改善提案活動では、提出された提案を皆で選び表彰するようになっており、当日は優秀な改善標語が壁ではなく階段に大きく掲示されていました。

これからの環境活動

長く活動を継続しているため、ややマンネリで受身になってきたとの課題認識をされており、今後は、頭を軟らかくして日々新たな気持ちで取り組めるように、環境教育活動を充実・強化していきたいとのこと。

貴重なお時間に、取材へご協力いただき、本当にありがとうございました。